

令和6年度 第1回 水窪小・中学校運営合同協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月16日（木）14時00分から15時40分まで
ただし、14時20分までは授業参観
- 2 開催場所 水窪中学校 ランチルーム
- 3 出席委員 柳田 温、塩崎 正敏、田中 裕彦、高木 罔乃、西岡 小百合、牧内 真美
石本 駿輔、三石 卓、高木 学、平澤 文江
- 4 欠席委員 山本 功、金田 和代
- 5 学 校 浮田 佳昭（水窪小学校長）、加藤 雅嗣（水窪中学校長）、鈴木 成幸（水窪小教頭）
梅田 研（水窪中教頭）、内山 由紀（CS ディレクター）
- 6 教育委員会 井島 健蔵（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CS ディレクター 内山 由紀
- 9 会長の選出及び副会長の指名
水窪小教頭から、柳田委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、水窪小教頭から、田中委員を副会長に指名する旨の報告があり、全員意義なくこれを承認した。
- 10 議長の選出
司会から、柳田委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
（1）水窪小学校・水窪中学校運営基本方針について
（2）夢育やらまいか事業に対する意見書について
- 12 会議記録
司会の平澤委員から、委員総数12人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
（1）学校運営協議会規則確認
浜松市教育委員会教育総務課より、学校運営協議会規則について説明があった。

（2）前回会議録、令和5年度協議会自己評価の確認について
水窪小教頭より、別紙資料の前回会議録、令和5年度協議会自己評価の内容について説明があり、確認した。
＜授業参観等の感想＞
 - ・1・3年の授業を見たが、若い先生に教えていただくことは、年も離れていないのでいいかなと思った。廊下に掲示してあった写真が、入学してから今までの活動で、子供の笑顔の写真がいっぱいあり、楽しくやっているのを痛感した。（柳田委員）
 - ・子供が中学へ通っているが、中学生になり落ち着いて授業を受けていられるようになってきた。2年生は9人で、一番人数が多く元気な子が多いが、授業では集中して取り組んでいた。1年生は、ついこの前まで小学生だったが大人になっている感じがした。（田中委員）
 - ・去年より生徒数が減り、寂しいという感じがしていた。クラスで、女の子の中に男の子一人、それか

らその逆にというケースになったときにどうだろうかという心配をされていた先生の話の思い出した。今日振り返る限り、いい発言をされていて心配ないなという感じを受けた。(塩崎委員)

- ・マンツーマンの授業、若い先生が教えていて、話しやすい感じで和気あいあいとやっていた。問題点では、たくさんの意見、たくさんの答えがないから、もう少し先生とみんなの交流をやってほしいなという感じがした。1年「笑顔」、2年「助走」、3年「信念」という授業や生活に対する目標をもった子供たちの様子を見させていただき、参考になった。(園乃委員)
- ・僕たちが小中学校の時と違って少人数なので、各個人に合わせて深く先生が一人一人見れるのはいいことかなと思った。モニターを使って見やすく、やりやすく、わかりやすくするのはいいことだと思うが、一方で少人数の中で、できる子できない子があつたときに、どうしてもできない子に合わせてしまうところが心配にはなるかなと思った。勉強が苦手な子に合わせてと、できる子が止まってしまうという少人数学級の弊害はどうしてもでてしまうのかなとか思った。(石本委員)
- ・少人数の中で、先生が目がしっかり生徒に届いているかなと思った。前の学校の時には、1クラス30人強のクラスで、どうしてもうるさくなってしまっていた。先生が目が届きにくい環境で勉強していたのに比べると、今は集中して勉強できていていいかなと思った。大人数でやったときのほうがいろいろな意見が出ていいという部分もあるが、自分は、子供に、他の子と違う考え方をしてみようと話をしている。少し実践できていた部分もあつたので指導しながら授業がいいものになるようになっていけばいいなと思っている。(三石委員)
- ・子供がいるが、皆、小規模校で学び、元気にやっている。小規模であつても、先生方は、素晴らしい教育の仕方をしていただいている。今日見た限りでも素晴らしい教育をされているなと感じ、継続していただければと感じた。(学委員)
- ・表情よく授業を受けていると感じた。参観会等でもグループになってわかる子が苦手な子に教えるなど、その場にあつた授業をしてくださっていてありがたく思っている。(西岡委員)
- ・最近、外からお仕事で来る人が多く、その方たちと話したとき、水窪の子どもは、顔を見て挨拶してくれること、人数が少ないのに活気があるように感じると最近何人かに言われて驚いた。そのように意識してみると、ちゃんと顔を見るなと気が付いていいなと思った。よそから来た方たちが水窪の子を見て「いいね」と言ってくれることが嬉しかった。(牧内委員)

(3) 水窪小学校・水窪中学校運営基本方針について

議長の指示により、水窪小学校校長・水窪中学校校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針、いじめ防止基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があつた。

- ・去年、いじめの問題について耳にしたことがあつたので、どうなっているか質問し、話したことがあつた。それについて、小中学校から具体的ないじめ防止対策があがってきて嬉しく思う。(園乃委員)
- ・いじめは大人でもあるだろうし、いつも感じているのは、小中学校は手厚いなということ。安心して子供を行かせることができる。(牧内委員)
- ・昨年転校してきて、なじんでいない部分があり、ちょっといじめっぽいことを受けたが、しばらくこうしな、と言っているうちに、自然に消滅していつてくれた。子供たちの中でちゃんといじめに対する自浄作用みたいなのが芽生えてきているのかなと感じ、いいことかなという感じがした。こちらの学校は保護者から先生にお膳立てしないと対応してもらえないわけではなく、解決できた

のでいいなと感じた。(三石委員)

- ・自分も小学校のころいじめられたことがある。今の子には当てはまらないかもしれないが、保護者や先生が直してくれたわけではなく、自分たちで直ったかなという感じだった。ネット社会の中でネットリテラシー、ネットの中でのいじめ、ユーチューブ、ツイッター、インスタグラムなど、中学生や小学校高学年でやっている子は多いかなと思う。その中で、地域の人以外と接するときの常識、ネットニュースでも攻撃的な発言をしてネットにさらしあげられていることもあるので、そういったところのフォロー等教えてあげるといってもやっていただけたらと思った。(石本委員)
- ・ラインでいろいろつながっていて、ラインの問題はあった。一時期よりは下火になってきていると感じており、状況を教えてほしい。SNSの使い方は、6月に文科省から出ているもので指導して、もう一つは、業者か警察のほうに依頼し、どうやって使っていくかという注意をもらう計画を立てている。(水中校長)
- ・小学校も6月に保護者も交えてネットリテラシー講座を計画をしている。(水小校長)
- ・ネットでのいじめも最近本当に増えているので、学校も対策を一生懸命してくれている。前みたいに、いじめられて泥だらけになって帰ってくるとか、誰かと一緒にいたあとに様子がおかしくなったという見える形ではない。布団の中だったり自分の部屋だったり、本当に手のひらの中で事件が起こってしまっているのだから、見つかるのが遅れる。もう一つ、中学生くらいになると性教育の話が出てくる。自分が見た情報が大人がやっている正しい情報だと信じこんで性犯罪を起こす子がいる。ネットの中のフィクションを本当だと思い込み、犯罪まで発展してしまう重大事件につながっていることがある。ネットリテラシー業界の人たちもどのように伝えればよいか、頭を悩ませている。ネットリテラシーを習うと、私たちはこんなことやってないとみんな言うが、中学に入ると、そういうトラブルが起きる。そういうことがずっと続いているので、そういう研究も皆さんも入って一緒にできるといいと思う。ネットの分野は、年配の方は知らないことかもしれないが、経験の中において、いじめ対策や、どうしたらいいのかという案はもっていると思う。ぜひそういった議論をするときにはみなさんの御意見を聞かせていただきたい。(平澤委員)

協議の結果、全員異議なく令和6年度学校経営方針を承認した。

(4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、水窪中学校教頭から、別紙資料に基づき説明があった。

(5) 学校経営方針の具現化及び課題解決のための取組について～地域人材を活用した実践の計画～ 水窪小学校教頭より、別紙資料に基づき、地域人材を活用した実践計画について説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・今年は、田植えはないか。(園乃委員)

→行わない。(水窪小教頭)

水窪中学校教頭より、別紙資料に基づき、地域人材を活用した実践計画について説明があった。

その他報告事項等

- ・水窪小教頭より、次回は7月1日(月)13:40から水窪小学校で開催する旨の報告があった。